

第8節 課外活動

第2項 けやき倶楽部の発足

千葉大学を拠点に、生涯学習に取り組もうと本学主催の公開講座受講生らの声がかきつけとなり、1995年10月14日全国でも初めてという、大学と地域のパイプ役を担う千葉大学生涯学習友の会「けやき倶楽部」が発足、初代会長に生田幹夫氏が就任し、活動を開始した。

現在、倶楽部の会員は約220名で、公開講座の参加者や地域の一般市民が中心である。本学主催の各種生涯学習事業に参加・協力するほか自主的な活動・会員相互の親睦を目的としている。倶楽部では「ふれあい、共に学び、共に生きる」の旗印のもとに話し合いを通して相互学習を進めている。グループメンバー同士が話し合いをしながら、互いに教えあったり、学びあったりしていくグループコミュニケーション活動を通して学習する「歴史」、「文芸・芸術」、「哲学・宗教」、「政治・経済」、「健康・福祉」、「国際理解・情報」、「スポーツ・コミュニケーション」、「環境」の8つの自主学習グループで学習活動を続けている。主な学習場所としては、大学構内にあるけやき会館および附属図書館1階に設けられた地域交流コーナーを大学側が開放し、利用している。発足後、大学と共催による公開シンポジウムや倶楽部が主催する対話型講演会、各種フォーラム等には大学側も講師陣として参加し、会員との交流も図られている。

倶楽部では会員の情報交換のための会報「CAM」も現在までに第11号を発行している。

また、グループ学習に関する研究会、などさまざまな生涯学習の試みに地域社会も注目し、千葉テレビは1997年9月に「共に学ぶ大学講座生 けやき倶楽部」と題するドキュメンタリー番組を放映した。

第8節 課外活動

第1項 課外活動施設

1963年に文理学部および学生部が小中台地区から西千葉地区に移転したが、当時体育施設としては、同年に整備された陸上競技場、サッカー場、野球場、テニスコート

のみで、その他の体育施設、サークル部室等には東京大学生産技術研究所から所管替えとなった古い木造建物を充てていた。体育施設、課外活動施設は年を追って整備され、1997年現在では、西千葉地区の体育施設・課外活動施設として、陸上競技場、サッカー・ラグビー場、テニスコート（6面）、テニス・バレーコート（4面）、野球場、プール（50m 8コース）、体育館、第2体育館、武道場、弓道場、音楽共同練習A棟、音楽共同練習B棟、サークル会館（文化系）、サークル会館（体育系）、体育管理合宿施設がある。

第2項 学生のサークル活動

西千葉地区で活動している公認サークルは1978年には体育系50サークル、文化系79サークル、計129サークルであったが、課外活動施設の整備が進むにしたがい漸増し、1997年には体育会42サークル、体育系44サークル、文化系73サークル、音楽系18サークル、計177サークルとなっている。各サークルの活動は活発で、学内のみにとどまらず、学外の大会等に参加し好成績をあげているサークルもある。

課外活動の活発化に伴い、事故も発生している。近年発生した主な事故として、①ヨット部ヨット座礁事故（1994年、浜松市中田島海岸沖で座礁、10人の乗組員は全員無事）、②N・E・Wゴルフ同好会交通事故（1995年、千葉市内の国道で対向車と衝突、女子部員1名死亡、男子部員2名重傷）、③新入生急性アルコール中毒死事故（1996年、オリエンテーリング部の新入生勧誘コンパ二次会で新入生が急性アルコール中毒により死亡）がある。1994年6月以降、「一気飲み」「飲酒の強要」の禁止、コンパ等での飲酒の自粛について告示してきたこともあり、さらに全学生に対しパンフレット配布等による急性アルコール中毒についての啓蒙活動が行われた。なお、1996年度の春祭は中止となった。

また、最近の社会情勢を反映し、ボランティア活動に参加する学生も増え、1995年に発生した阪神淡路大震災には、本学からも18名の学生が参加した。

第3項 主な諸行事

関東甲信越大学体育大会

本学を含む12大学（国立11、公立1）を構成員として、当番大学を定め、毎年8月上旬に開催されている。本学は1984年、1992年に当番大学を引受け、17競技種目を学

第9節 厚生施設

内および県内の施設を使用して実施している。

関東甲信越大学体育大会は、1997年に第46回を迎え、この大会から3大学が当番大学となる分担方式となり、信州大学（主管）、新潟大学、長岡技術科学大学が当番大学となった。

大 学 祭

千葉大学祭は、西千葉地区（千葉大祭）、亥鼻地区（あのはな祭）、松戸地区（戸定祭）の3地区で、学生により組織された大学祭実行委員会が中心となり、毎年11月1日から4日の4日間開催されている。大学祭は、サークル活動の日頃の成果を発表する場としての機能を果たしていたが、近年、参加団体の増加に伴い、模擬店、アイドルショー等お祭りの企画が主となってきている。また、あのはな祭については、実行委員会が組織されないため、1995年度以降は開催されていない。

サークル・リーダーシップトレーニング

サークル・リーダーシップトレーニングは、集団研修を通じて健全な課外活動のあり方を理解させ、あわせてリーダーシップの要請を図るとともにサークル活動の質的向上に資することを目的に、1976年度から実施された。当初は体育会系サークルを中心に行われていたが、1996年度から文化系および音楽系サークルを含め行われるようになった。

第9節 厚生施設

第1項 学 寮

1976年度には、現在の状況に近い施設として管理運営されてきた。

医学部男子学生寮（第1学生寮、人生希望寮）は、共に木造老朽化のため建替え、雄翔寮として1979年4月に完成した。大学の厚生施設としての学寮は、経済生活上の援助だけが目的ではなく、集団生活を通じて社会人としての人間形成に寄与する場として運営、管理され、現在にいたっている。

第2項 国際交流会館

国際交流会館は、A棟（家族・夫婦室）、B棟（夫婦室）、C棟（単身室）、D棟